

一般演題 口頭発表

児童福祉施設 1

●11月26日(日) 9:00～10:30 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場 (フォレストハウス1階F102)

座長：藪 一裕 (京都文教大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-1	Manchester Child Attachment Story Task (MCAST) による児童期前期のアタッチメント表象の測定 水木 理恵 (福島県立医科大学)	273
O-2	児童養護施設における事故予防についての探索的研究 ～小規模化・地域分散化施設の「ヒヤリハット」から～ 社会福祉法人光明会 杉並学園 (江野 肇、白根 由太郎、渡邊 智則、澤田 千晴)	273
O-3	乳児院から児童養護施設への措置変更時期の乳幼児に対する養育者の支援過程 ～アタッチメントの視点からの検討～ 森末 一代 (東京大学教育学研究科教育心理学コース)	274
O-4	児童養護施設の立地地域によるリービングケア実施内容の相違：北海道における都鄙差 片山 寛信 (北海道医療大学)	274
O-5	平均勤続年数の長い児童養護施設における職員文化 櫻井 勇輔 (国立武蔵野学院)	275

母子保健・民間団体 1

●11月26日(日) 9:00～10:30 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場 (フォレストハウス1階F103)

座長：佐保 美奈子 (聖泉大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-6	DV 被害者である母に対する医療ソーシャルワーカーの支援アプローチの効果と改正児童福祉法に期待すること 深谷赤十字病院 (医療社会事業部社会福祉課 吉田 穂菜美)	276
O-7	助産師が担う地域母子保健における役割 女性を中心としたケアの実践からみえたパートナーシップと継続支援 豊嶋 優子 (日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科)	276
O-8	若年妊産婦を支援する地域専門職に対するトラウマ・インフォームドケア研修プログラムの効果 新村 順子 (公財) 東京都医学総合研究所)	277
O-9	行政における父親への効果的な支援の検討 青地 尚子 (西京区役所保健福祉センター 子どもはぐくみ室)	277
O-10	演題取下げ	278
O-11	「病院拠点型性暴力ワンストップ支援センター」において支援を継続するための工夫 佐藤 浩子 (特定非営利活動法人千葉性暴力被害支援センターちさと)	278

里親・養子縁組

●11月26日(日) 9:00～10:30 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場 (フォレストハウス1階F104)

座長：山川 宏和 (京都華頂大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-12	里親支援におけるオープンダイアログの可能性 ～里親同士と家族、2つの対話への参加者の経験～ 門間 晶子 (名古屋市立大学大学院 看護学研究科)	279
O-13	フォスタリング機関における評価方法の検討の試み ～里親支援センターにおける第三者評価導入に向けて～ 西郷 民紗 (早稲田大学社会的養育研究所／HITOTOWA)	279
O-14	子どもの家庭養育推進に向けた「乳幼児短期緊急里親事業」の在り方の検討 ～A県モデル事業の評価・検証より～ 中村 豪志 (早稲田大学社会的養育研究所)	280
O-15	里子の里親家庭における経験の探索的検討—成人した里子へのインタビューを通して— 片根 志雄 (児童養護施設誉田養徳園)	280
O-16	フォスタリング・アセスメントの在り方に関する検討 フォスタリング・アセスメントのフォーム作成を目指して 上村 宏樹 (早稲田大学社会的養育研究所)	281

子育て支援 1

●11月26日(日) 9:00～10:30 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場 (フォレストハウス1階F105)

座長：川北 典子 (大谷大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-17	育児不安解消にむけた親子関係づくりと支援方法 千葉 千恵美 (高崎健康福祉大学)	282
O-18	精神保健福祉士と子ども福祉支援者の精神疾患を有する者の家族支援連携方法：アンケート調査からの比較 谷口 恵子 (聖学院大学 心理福祉学部 特任准教授)	282
O-19	フランスは子ども家庭福祉を担う専門職の職業の発展をいかに目指そうとしているか 安發 明子 (立命館大学人間科学研究科、日本学術振興会特別研究員)	283
O-20	児童館を利用する保護者の利用者評価 —子ども虐待、子育て不安、利用頻度、相談有無との関連を中心に— 八重樫 牧子 (福山市立大学 (名誉教授))	283
O-21	アウトリーチ型家庭訪問による子育て支援の実際 中村 美砂 (奈良保育学院)	284

児童福祉施設 2

●11月26日(日) 10:45～12:15 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F102)

座長：金澤 ますみ(桃山学院大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-22	児童心理治療施設における安全感の獲得についての一考察―虐待ケースを通して考える― 白松 佳奈(児童心理治療施設大村椿の森学園)	285
O-23	施設でのLSW導入から定着まで―施設職員全体での協力体制の構築― 中野 紗樹(海の子学園 入舟寮)	285
O-24	母子生活支援施設における親子関係構築支援ソーシャルワークの実態把握に関する調査研究 那須 里絵(早稲田大学総合研究機構社会的養育研究所)	286
O-25	トラウマインフォームドケア研修を実践に活かすために求められる要素 酒井 佐枝子(兵庫県こころのケアセンター)	286
O-26	演題取下げ	287

医療 1

●11月26日(日) 10:45～12:15 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F103)

座長：辻 俊一郎(滋賀医科大学産科学婦人科学講座)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-27	「No Hit Zone(敷地内非暴力区域運動)」院内研修会の試み 五十嵐 登(富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)	288
O-28	被虐待児の精神科専門治療への経過 三宅 和佳子(兵庫県こころのケアセンター 大阪母子医療センター)	288
O-29	当院助産外来における社会的ハイリスク妊婦の実態 ―背景とソーシャルサポート― 岡林 美樹(高知大学医学部附属病院)	289
O-30	周産期における要支援家庭のリスク要因とFAST(Family Support Team)支援期間の検討 松本 明子(公立陶生病院)	289
O-31	児童・思春期病棟を有する単科精神科病院における要保護児童対策地域協議会対象患者の検討 平住 昂樹(社会医療法人 聖ルチア会 聖ルチア病院)	290

児童相談所 1

●11月26日(日) 10:45～12:15 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F104)

座長: 石田 慎二(帝塚山大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-32	子ども虐待事案に関連する保護者やDV加害者対応に関する意識について —児童相談所職員へのアンケート調査自由記述を通しての考察— 高井 由起子(関西学院大学教育学部)	291
O-33	DV家庭で育つ子どもの経験—当事者インタビューからみる被害実態と保護要因— 増井 香名子(日本福祉大学)	291
O-34	児童相談所における新人児童福祉司の業務負担の発生要因に関する研究 田中 聡子(県立広島大学)	292
O-35	性問題は「生」問題～児童相談所における児童への包括的性教育プログラム～ 大野 由香里(名古屋市中央児童相談所)	292
O-36	児童福祉司ピアグループ活動の効果—年度間の比較— 弦間 亮(京都府宇治児童相談所・立命館大学人間科学研究科)	293

子育て支援 2・その他 1

●11月26日(日) 10:45～12:15 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F105)

座長: 有井 悦子(まるばひいらぎ フリー小児科医)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-37	子どもの意見表明権の保障を通じた虐待防止に向けた取組みと課題 村上 悠平(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)	294
O-38	子どもに対する体罰等の暴力をなくし子どもの権利を保障するための子どもの権利を基盤にした包括的施策の強化 森 保道(子どもすこやかサポートネット 日本弁護士連合会子どもの権利委員会)	294
O-39	MY TREE 父親プログラムの効果と必要性 中川 和子(一般社団法人MY TREE)	295
O-40	MY TREE ソマティックなアプローチの有効性 栗本 久仁子(一般社団法人MY TREE)	295
O-41	地域養護の推進を目指して～滋賀県地域養護推進協議会の取り組み～ 滋賀県地域養護推進協議会(池畑 賢太郎)	296

児童福祉施設 3

●11月26日(日) 13:30～15:00 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F102)

座長：磯部 美也子(奈良大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-42	児童養護施設を退所した女性が語る妊娠自覚から出産・育児に至るプロセス ～妊娠葛藤と社会資源との繋がりに着目して～ 芦田 拓司(西日本こども研修センターあかし)	297
O-43	経年の支援実践から見た母子生活支施設入所世帯の状況(その2) 中山 純子(母子生活支援施設そねホーム)	297
O-44	社会的養護のケアリーパーの子育ての実態調査と支援の展開 ～国立武蔵野学院の退所生への調査から～ 関根 祥子(国立武蔵野学院)	298
O-45	社会的養護からのスムーズな巣立ちと支援に向けた、継続支援計画書作成の効果的な方法について 中島 円実(滋賀県地域養護推進協議会)	298
O-46	母子生活支援施設における退所支援に向けたアセスメント指標の検討 中島 尚美(大阪公立大学大学院生活科学研究科)	299

医療 2

●11月26日(日) 13:30～15:00 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F103)

座長：安 炳文(京都第一赤十字病院)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-47	虐待対策チームへの報告件数から見る教育体制の課題 木村 はなこ(公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院)	300
O-48	不適切な養育等が疑われる子どもに対する養育支援チーム介入の実態 吉澤 恵(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院)	300
O-49	救命救急センター受診時に不適切な養育環境がうかがわれたケースに対する介入活動について 澤村 陽子(熊本赤十字病院)	301
O-50	養育支援チーム報告例から見えてきた課題～評価基準と今後の予防的支援について考える～ 小林 喜実代(医学研究所北野病院)	301
O-51	5歳以下の頭蓋骨骨折における治療過程のCT画像 横井 広道(国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター育児支援対策室)	302

児童相談所 2・司法

●11月26日(日) 13:30～15:00 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F104)

座長：菅野 道英(そだちと臨床研究会)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-52	児童相談所における「ソーシャルワーク実習」プログラムの検討 前原 一教(広島県東部こども家庭センター)	303
O-53	被虐待・ネグレクト乳幼児の精神病理に対する3軸評価法(CAT-P)の有用性の検討 井上 美鈴(東洋学園大学)	303
O-54	児童虐待相談の実態把握に関する行政統計の課題～滋賀県における統計情報の把握方法を手がかりに～ 郷間 彰(滋賀県庁)	304
O-55	一時保護所職員の子どもの問題行動への理解と対応についての質的研究 西本 智恵美(兵庫県中央こども家庭センター)	304
O-56	裁判記録を用いた児童虐待死亡事例検証の分析結果の中間報告 齋藤 知子(帝京平成大学)	305

市町村 1

●11月26日(日) 13:30～15:00 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F105)

座長：越智 紀子(京都光華女子大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-57	訪問型ペアレントトレーニング・プログラム「セーフケア」の導入と実装に向けた報告 山岡 祐衣(東京医科歯科大学)	306
O-58	伴走型情報発信による不安軽減のエビデンス～港区子育て応援メール配信事業に関わる効果分析 大島 由起雄(NPO法人きずなメール・プロジェクト)	306
O-59	保護機能のない市町村は子どもの気持ちをどう受け止められるか —虐待が疑われる子どもが帰宅を拒むとき— 峰野 崇(豊橋市こども未来部こども若者総合相談支援センター)	307
O-60	要保護児童対策地域協議会の現状と工夫 ①～市町村の現状と課題を中心に～ 仲宗根 里実(NPO法人児童虐待防止協会)	307
O-61	要保護児童対策地域協議会の現状と工夫 ②～市町村の工夫を中心に～ 八木 安理子(NPO法人児童虐待防止協会)	308

教育・障がい

●11月26日(日) 15:15～16:45 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F102)

座長：中村 健(立命館大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-62	小学校・中学校におけるケア・リテラシーの導入による虐待予防について 小澤 貴史(拓殖大学)	309
O-63	児童福祉司任用後研修における模擬事例を用いたグループワークの影響とニーズに関する探索的研究 須江 泰子(日本社会事業大学専門職大学院)	309
O-64	青年期のケアリーパーによる当事者活動に関する聞き取り調査 上田 裕美(大阪教育大学教育学部)	310
O-65	医療・福祉・教育の連携によるTeens Bistroの取り組み 黒光 さおり(尼崎市教育委員会学校教育部こども教育支援課)	310
O-66	障害児入所施設での個別支援計画の活用状況と支援について 服部 太志(佛教大学 研究員)	311

医療3・その他2

●11月26日(日) 15:15～16:45 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F103)

座長：西澤 嘉四郎(滋賀小児科医会)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-67	性虐待から子どもを守るための小児科医からの提言：淋菌感染症の未就学女児2例から経験した、日本における性虐待立証の困難さ 香取 奈穂(慶應義塾大学病院小児科)	312
O-68	産科医療機関が行う社会的はリスク妊婦への支援の実際 天野 香菜子(地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 看護部)	312
O-69	養育者のアルコール依存症・精神健康障害と、子育てや子どもの情緒・行動との関係 森田 展彰(筑波大学医学医療系)	313
O-70	JaSPCAN 国際活動委員会：2023年9月のエジンバラ・コンGRESS参加報告 石倉 亜矢子(函館中央病院 小児科兼こども子育て支援室)	313
O-71	母による身体的虐待が疑われたが、のちに実父による加害が判明した事例 -母へのインタビューからの考察- 小鹿 学(山梨大学小児科)	314

児童相談所 3・その他 3

●11月26日(日) 15:15～16:45 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F104)

座長：鈴木 崇之(東洋大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-72	過去3年間の虐待死亡事例等検証報告書の内容分析～ETTO原則の視点から～ 高木 伸也(株式会社 AiCAN 一般社団法人こころの研究所レタス)	315
O-73	人口密度による児童虐待の兆候察知経験 松田 昌史(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)	315
O-74	児童相談所におけるチームビルディング 久保田 佳子(兵庫県川西こども家庭センター)	316
O-75	法医学から見た児童相談所の問題点 内ヶ崎 西作(東京医科大学基礎社会医学系社会医学法医学分野)	316
O-76	児童虐待事例に対するアセスメントの基礎：全国調査結果に基づく知見と構造的な捉え方 坂本 次郎(株式会社 AiCAN)	317

市町村 2・民間団体 2

●11月26日(日) 15:15～16:45 立命館大学びわこ・くさつキャンパス会場(フォレストハウス1階F105)

座長：山田 容(龍谷大学)

No.	タイトル・企画者	抄録 ページ
O-77	官民共創による児童虐待防止における取組の効果と課題 鎌田 宗純(日野町福祉保健課地域共生推進担当)	318
O-78	保護者支援プログラムの現状について一文献研究を通して一 中川 千恵美(大阪人間科学大学)	318
O-79	児童相談所と市町村の連携の度合いを数値化する必要性和試み 北村 充(豊橋市こども若者総合相談支援センター)	319
O-80	地域の子育て支援団体の継続的関わりと協働した家族支援の一事例 荻野 勝己(尼崎市子どもの育ち支援センター)	319
O-81	居住型継続支援の適応となった妊産婦の特徴と支援の実際 西尾 和子(愛知医科大学大学院)	320